

バス路線再編の具体案

計画に記載する事項

- ① 三野方面……………P01
- ② 高屋方面……………P02
- ③ 西大寺方面……………P03
- ④ 岡南方面……………P04
- ⑤ 芳泉方面……………P06
- ⑥ 妹尾方面……………P07
- ⑦ 津高方面……………P09
- ⑧ 中心部……………P10

※記載内容は岡山市が検討した案であり、今後関係者と協議してとりまとめます

① 三野方面の再編

■ 対象系統

	系統番号	区間
宇野バス	210	表町BC～林野駅
	216・236	表町BC～材林 ¹ 込東
	219・229・239	表町BC～材林 ¹ 込西
岡電バス	027・077	岡山駅～三野
	017・067	岡山駅～妙善寺
	037・087	岡山駅～理科大東門

■ 対象路線の現状

- 027・077系統（岡電）は、輸送容量に対して需要が小さく、また大部分の区間で宇野バス及び岡電バスの他の系統と重複している
- また、コロナ禍の影響もあり、今年度のダイヤ改正で減便となっている

■ 再編の内容

- 027・077系統（岡電）を廃止し、運行の効率化を図るとともに、他地域への再配分等について検討する
- これにより、宇野バス系統での混雑が想定される場合は、直行便の導入や増便等について検討する

■ 対象路線図



② 高屋方面の再編

■ 対象系統

	系統番号	区間
宇野バス	251	岡山駅～長岡・東岡山駅前
	252	岡山駅～八日市
	253	岡山駅～片上
	254	岡山駅～瀬戸駅
岡電バス	008	大学病院～岡電高屋
	02H	岡山駅～大学病院

■ 対象路線図



■ 対象路線の現状

- 008系統（岡電）は、オフピーク時間帯は、輸送容量に対して需要が小さく、また大部分の区間で宇野バスと重複している
- また、コロナ禍の影響もあり、今年度のダイヤ改正で減便となっている

■ 再編の内容

- 008系統（岡電）をオフピーク時間帯で減便し、運行の効率化を図るとともに、他地域への再配分等について検討する
- これにより、宇野バスで混雑が想定される場合は、増便等について検討する

■ 岡電008系統のオフピーク時間帯での減便(案)

「宇野+岡電」が4便/時（15分ピッチ）になるまで減便

利用の多い時間帯
利用の少ない時間帯

<平日/上り(高屋発)>

時間帯	宇野+岡電		
	現状	再編	増減
～9時	31	31	0
10時	6	4	-2
11時	5	4	-1
12時	4	4	0
13時	4	4	0
14時	4	4	0
15時	5	4	-1
16時	6	4	-2
17時	6	4	-2
18時	6	4	-1
19時	4	4	0
20時	3	3	0
21時	3	3	0
合計	86	77	-9

<平日/下り(岡山駅発)>

時間帯	宇野+岡電		
	現状	再編	増減
～7時	12	12	0
8時	8	4	-4
9時	8	5	-3
10時	6	4	-1
11時	6	4	-1
12時	5	4	-1
13時	4	4	0
14時	4	4	0
15時～22時	34	34	0
合計	85	75	-10

③ 西大寺方面の再編

■ 対象系統

	系統番号	区間
両備バス	314	岡山駅～西大寺（天満屋経由）
	315	岡山駅～西大寺（市役所経由）
	循環線	益野西～岡山駅前～益野西
八晃運輸	めぐりん益野線	新橋南～岡山駅前～新橋北

■ 対象路線の現状

- 西大寺方面では、需要に対して輸送容量が大きく、また314・315系統との重複区間が大部分を占める
- また、コロナ禍の影響もあり、今年度のダイヤ改正では減便となっている

■ 再編の内容

- めぐりん益野線（八晃）を廃止し、運行の効率化を図るとともに、他地域への再配分等について検討する

■ 対象路線図



④ 岡南方面の再編

■ 対象系統

	系統番号	区間
両備バス	501	岡山駅～宇野駅
	502	岡山駅～小串・鉾立
	505	岡山駅～宇野駅・おもちゃ王国
岡電バス	021	岡山駅～労災病院（天満屋経由）
	022	岡山駅～労災病院（市役所経由）

■ 対象路線の現状

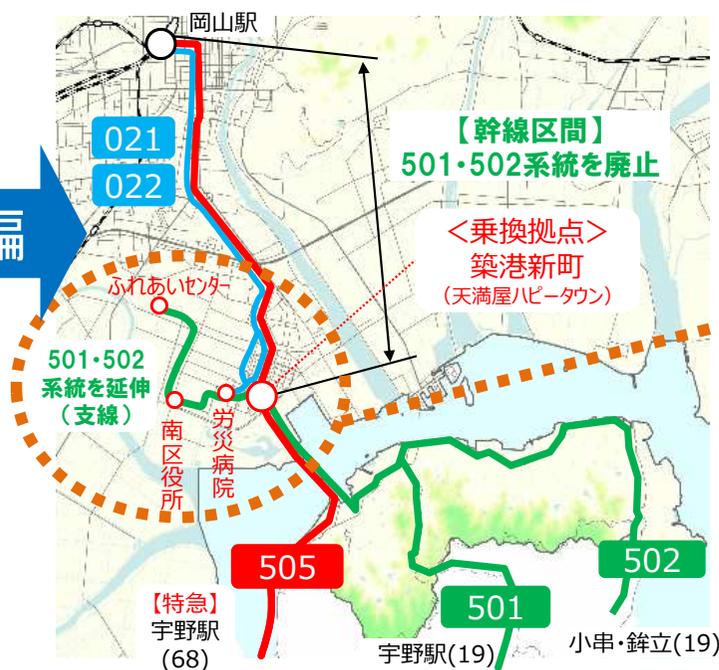
- 501・502系統（両備）は、全体的に利用が少なく、505系統や021・022系統との重複区間（築港新町～岡山駅間）での乗降が多い
- 両備バスの505系統（特急）は、全ての時間帯で需要に対して輸送量が上回っている

■ 再編の内容

- 都市拠点である築港新町を乗継拠点とし、501・502系統（両備）を支線化（築港新町～岡山駅間を廃止）するとともに、生み出された余力を活用し、労災病院や南区役所等への延伸や増便について検討
- 021・022系統（岡電）を乗り継ぎ拠点を經由するように経路変更し、築港新町バス停では、特急（505系統）と各停（021・022系統）に乗り継ぎ可能とする
- 築港新町での幹線・支線間の乗り継ぎは、直通運賃以下となるよう乗継割引を導入

<再編前>

<再編後>

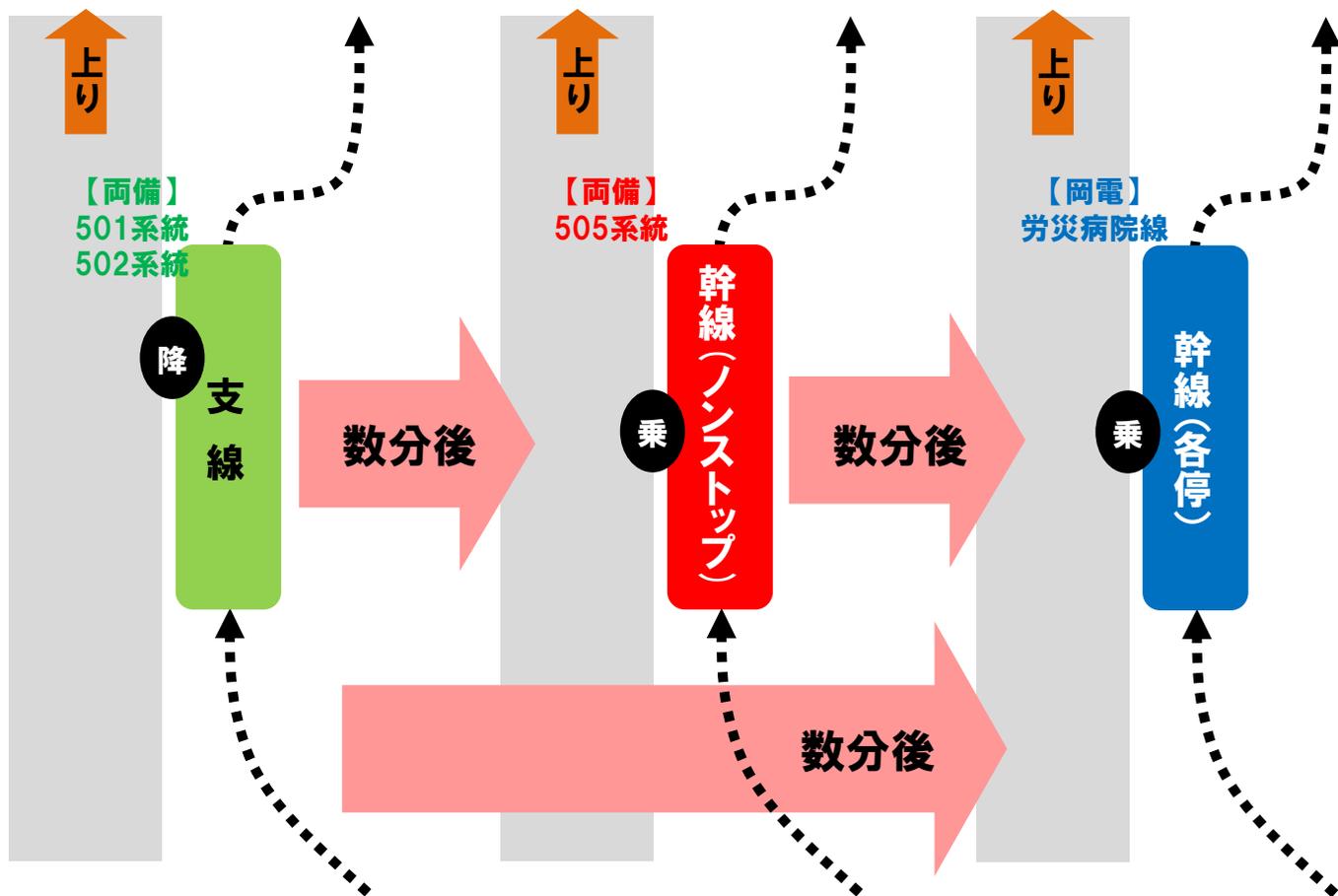


※ () 内は平日の往復運行本数

■ 再編に伴うダイヤ調整の考え方

- 幹線系統の速達性・定時性確保の観点から、支線系統が先着した後、**できるだけ早く幹線系統（両備バス505系統）へ乗り継ぎ**できるダイヤを設定
- 幹線505系統（両備）と労災病院線（岡電）が連続して到着すれば、支線系統の利用者は**ノンストップと各停の両方を選択**できる（ただし、岡電バス労災病院線の築港新町バス停を**集約**する必要がある）
- **下り方面**では、幹線系統の遅れ状況に応じて、**支線系統が出発時間を調整**

<上り方向のダイヤ設定(イメージ)>



<築港新町バス停の集約>



⑤芳泉方面の再編

■ 対象系統

	系統番号	区間
両備バス	533	岡山駅～玉野市役所
	534	岡山駅～宇野駅・渋川
	535	岡山駅～荘内・渋川
岡電バス	051	岡山駅～大東（天満屋経由）
	052	岡山駅～大東（市役所経由）

■ 対象路線の現状

- 大東～岡山駅間は、岡電バスの2系統が重なるため、全体の便数は大幅に増えるが、時間帯によっては同時刻に便が設定されていたり、待ち時間が長くなる場合がある
※令和2年10月のダイヤ改正では、これまでの議論を踏まえて、オフピーク時間帯において約15分ピッチの等間隔運行となっている

■ 再編の内容

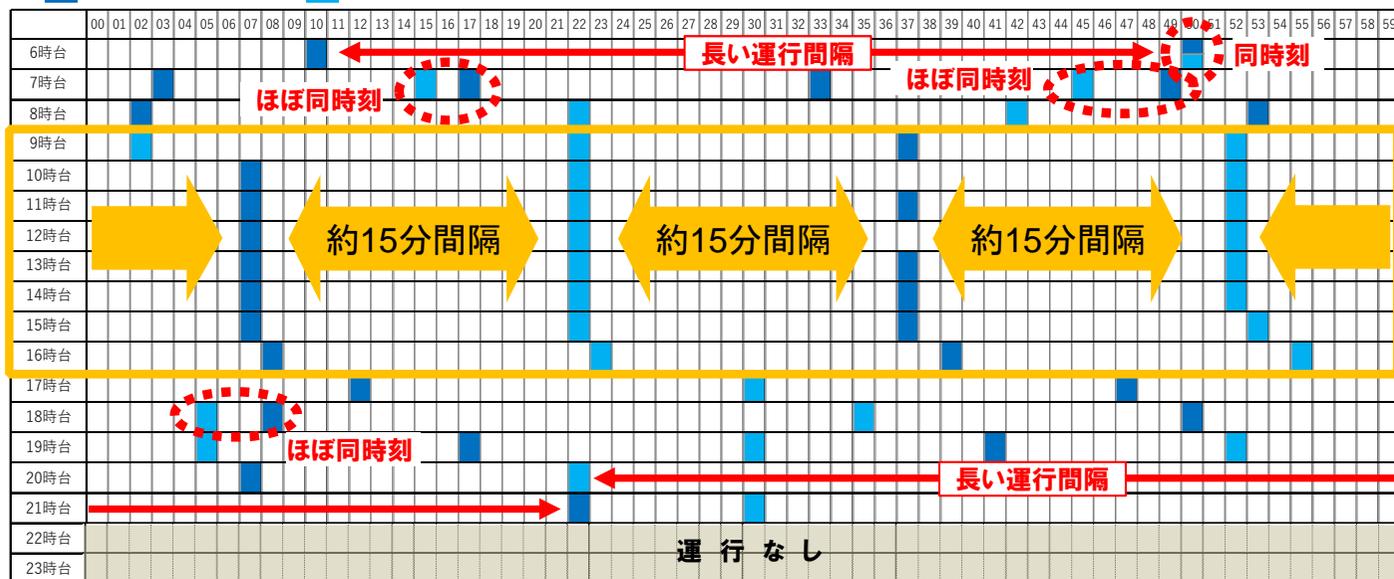
- 等間隔ダイヤの設定など、一定の運行間隔にダイヤ調整を行うことで、利便性の向上を図る
- オフピーク時では、需要に応じて051・052系統（大東～岡山駅間）を減便（4本/時から3本/時に減便など）することで、運行の効率化を図るとともに、他地域への再配分等について検討する

<大東バス停のダイヤ設定(現状)/平日上り>

■ : 両備バス

■ : 岡電バス（市役所経由・岡南営業所止除く）

岡山駅行きは
2社で59便/日



- 59本/日あれば、同じ運行時間帯で15～20分ピッチの等間隔運行が可能
- オフピーク時間帯で需要に応じて減便すれば、他方面への再配分等の可能性もある

⑥妹尾方面の再編

■ 対象系統

	系統番号	区間
下電バス	615	天満屋～汗入
	616	天満屋～興除車庫
	617	天満屋～児島駅
岡電バス	043	天満屋～火の見
	053	天満屋～重井病院
	063	天満屋～コンパックス岡山

※「汗入～天満屋」間は2社の共同運行

■ 対象路線の現状

- 汗入～天満屋間（下電・岡電共同運行）は、オフピーク時間帯では需要に対して輸送量が上回っている
- 各系統とも汗入以南の区間の利用が少なく、また、汗入を跨ぐ利用の場合、瀬戸大橋線の駅周辺での乗降が多い
- 一方、瀬戸大橋線では、今年の3月から快速列車を新設し、妹尾駅～岡山駅間でオフピーク時間帯に2往復増便している

■ 再編の内容

- オフピーク時間帯で需要に応じた減便を行うとともに、妹尾駅まで共同運行区間を延伸し、**速達性・定時性に優れた鉄道と接続**することで、利便性の向上によるバス利用の促進を図る
- 妹尾駅では、鉄道と路線バスの乗継拠点として、駅前広場再整備による結節機能強化を図る



再編前後の運行本数(案)

- 利用の少ないオフピーク時間帯で、各社6便、計12便を減便
- 「火の見」「汗入」「興除車庫」の3系統を中心に妹尾駅に接続するダイヤを検討すると、減便後の56便のうち約半数（1時間に1本程度）が妹尾駅に接続できる可能性がある

	系統番号	区間	再編前(現在)	再編後	
				合計	うち妹尾駅に接続あり
下電バス	615	天満屋～汗入	12	0	0
	616	天満屋～興除車庫	15	11	9
	617	天満屋～児島駅	7	7	0
	新設	天満屋～妹尾駅	—	10	10
岡電バス	043	天満屋～火の見	14	3	0
	053	天満屋～重井病院	16	14	0
	063	天満屋～コンベックス岡山	4	4	0
	新設	天満屋～妹尾駅	—	7	7
合計			68	56	26

利用の少ない
オフピーク時間帯で
12便減便(各社6便)

約半数の26便は
妹尾駅に接続
(概ね1時間に1便)

<再編後のダイヤイメージ(平日上り/岡山駅方面)>

		路線バス(上り)					JR(上り)	
便数	会社	出発地	妹尾駅	汗入	天満屋	妹尾駅発	接続時間	
1	下	車庫	6:01	6:16	6:30	7:03	6:35	0:19
2	下	車庫	6:16	6:31	6:45	7:18	6:35	0:04
3	下	車庫	6:36	6:51	7:05	7:38	6:57	0:06
4	岡	妹尾駅	7:21	7:21	7:35	8:18	7:28	0:07
5	下	車庫	7:26	7:41	7:55	8:38	7:52	0:11
6	岡	コンベ	8:02	—	8:15	8:58	—	—
7	岡	重井	8:30	—	8:40	9:14	—	—
8	下	妹尾駅	9:06	9:06	9:20	9:54	9:11	0:05
9	岡	重井	9:45	—	9:55	10:29	—	—
10	下	車庫	10:06	10:21	10:35	11:09	10:56	0:35
11	岡	重井	11:05	—	11:15	11:49	—	—
12	下	車庫	11:40	—	11:55	12:29	—	—
13	下	妹尾駅	12:21	12:21	12:35	13:09	12:47	0:26
14	岡	重井	13:05	—	13:15	13:49	—	—
15	下	妹尾駅	13:41	13:41	13:55	14:29	13:47	0:06
16	下	児島駅	13:37	—	14:35	15:09	—	—
17	岡	重井	15:05	—	15:15	15:49	—	—
18	下	妹尾駅	15:41	15:41	15:55	16:29	15:56	0:15
19	岡	妹尾駅	16:06	16:06	16:20	16:54	16:09	0:03
20	下	妹尾駅	16:31	16:31	16:45	17:19	16:48	0:17
21	岡	重井	17:00	—	17:10	17:44	—	—
22	下	児島駅	16:20	—	17:35	18:09	—	—
23	岡	妹尾駅	17:46	17:46	18:00	18:34	17:56	0:10
24	岡	重井	18:30	—	18:40	19:11	—	—
25	岡	コンベ	19:11	—	19:20	19:51	—	—
26	下	児島駅	18:45	—	20:00	20:31	19:56	—
27	岡	妹尾駅	20:26	20:26	20:40	21:11	20:44	0:18

妹尾駅へ接続する全14便のうち、
9便は15分以内で鉄道に乗り継ぎ可能

⑦ 津高方面

拡充

■ 対象系統

	系統番号	区間
【共同運行】 岡電バス 中鉄バス	016	天満屋～本村
	026	天満屋～国立病院
	036	天満屋～辛香口
	086	天満屋～免許センター
八晃運輸 拡充	めぐりん	岡山駅～国立病院

■ 対象路線図



■ 路線新設の意向【八晃運輸】

- 八晃運輸より「岡山駅～国立病院」での路線拡充について申し出

■ 対象路線の現状

- 通勤・通学でのバス利用はコロナ禍以前の水準に概ね回復しており、ピーク時間帯では一定程度混雑している状況となっている
- 一方、オフピーク時間帯では、需要に対して輸送量が上回っている

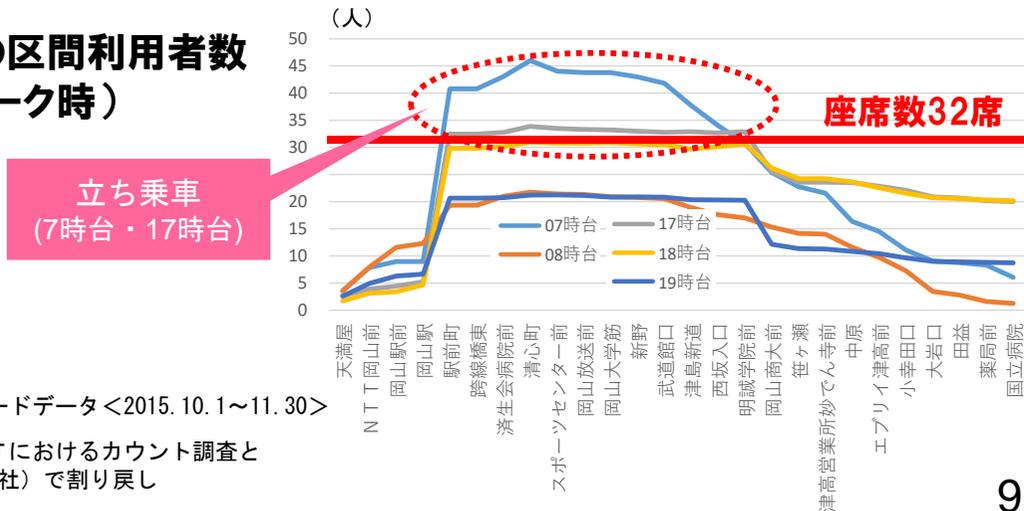
■ 路線の拡充・新設に対する岡山市の考え方

- 路線の拡充・新設については、利便性の向上を図りつつ、「**過剰供給とにならないこと**」と「**運賃の低廉化による収入減とにならないこと**」の2つの視点から整理

■ 新設路線の内容

- 国立病院線は、**八晃運輸を含めた3社での運行**とする
- 八晃運輸の運行計画は下記とする
【運行本数】過剰供給とにならないよう片道1時間に1本とする
【運賃】既存の岡電・中鉄と同じ設定とする
- 岡山駅東口広場への乗り入れは、方面別化を踏まえて**岡電・中鉄と同じ7番乗り場**とする
- バス停標識の一本化を検討**する

■ 国立病院線(026)の区間利用者数 (平日/上り方向/ピーク時)



(データ)
各社から提供されたハレカカードデータ<2015. 10. 1~11. 30>
※利用者数は、岡山駅東口BTにおけるカウント調査とハレカ実績の比率(58%/全社)で割り戻し

⑧ 中心部

拡充

■ 対象系統

	系統番号	区間
八晃運輸	M01	医大右線
	M02	市役所南線
	M03	医大左線

拡充

■ 対象路線の現状

- 中心部を循環する路線は、現在、M01系統（八晃運輸）の右回りのみとなっているため、遠回りとなる場合があり、利用者によっては不便となっている
- また、岡山駅に乗り入れていないため、鉄道と乗り継ぐ場合の利用者の負担が大きい

■ 新設路線の内容

- 循環線の左回りを新設するとともに、右回りとあわせて岡山駅東口広場に乗り入れることで、利便性の向上を図る

